



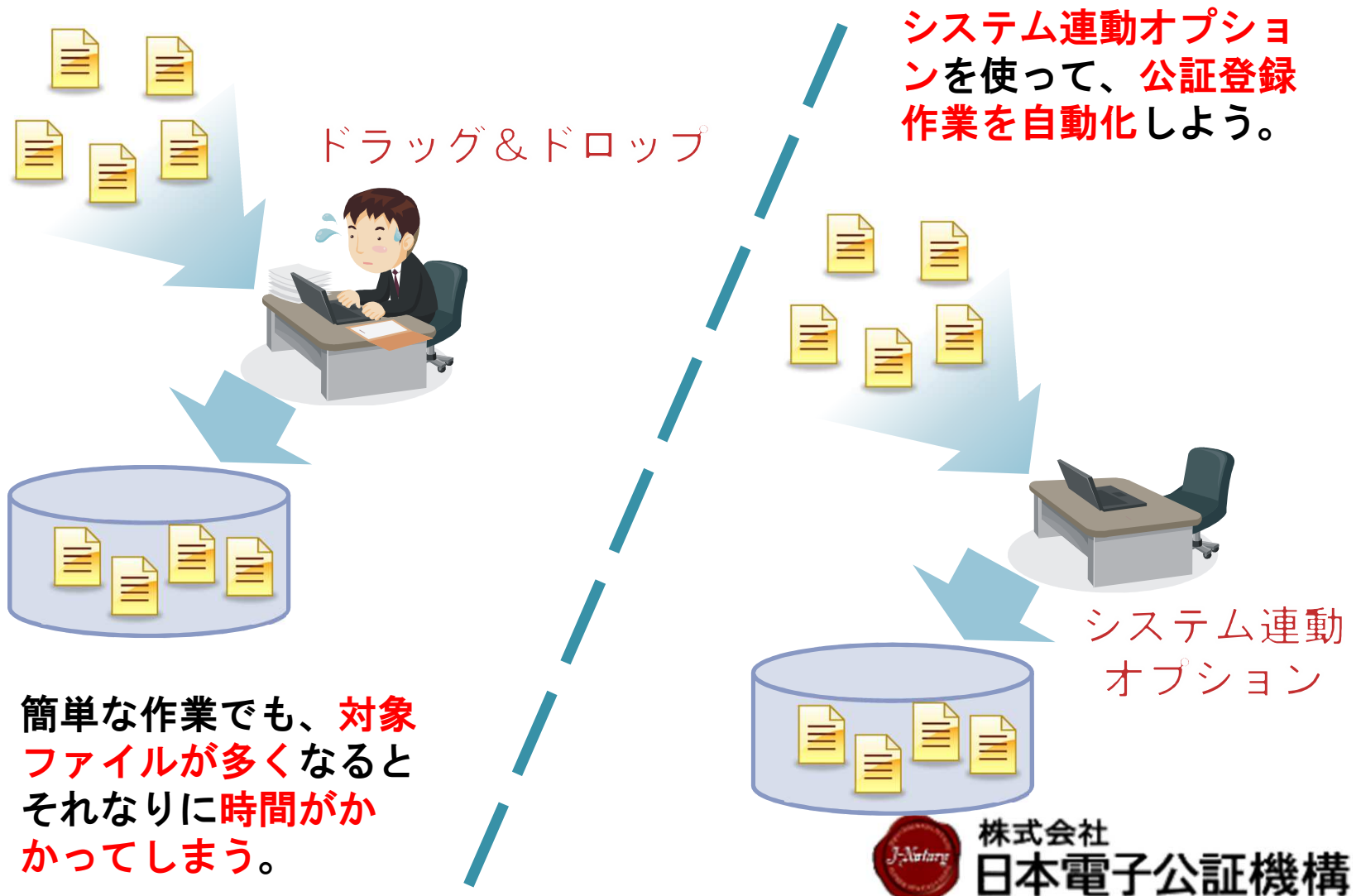
# 公証エージェント システム連動オプションのすすめ

—公証登録を自動化する方法—



株式会社  
日本電子公証機構

# 公証登録作業を自動化しよう



# システム連動オプションとは

- システム連動オプションをご契約いただくと、  
⇒ 公証エージェントをプログラムやスクリプトなどから必要な情報を渡して起動することができるようになります。
- ユーザーは、システム連動オプションを使って  
⇒ ユーザーシステムと電子公証サービスを融合することができます。



# 公証エージェントの起動方法

- 以下のコマンドをコマンドライン、スクリプト、プログラムから実行します。

JnER001.exe filename -BATCH contract-code user-code (title-text) (comment-text)

JnER001.exe	: 公証エージェント本体です。
filename	: 公証対象のファイルをフルパスで指定します。(必須)
contract-code	: 実行ユーザーの契約コードを指定します。(必須)
user-code	: 実行ユーザーの利用者コードを指定します。(必須)
title-text	: 公証データベースに登録するタイトルを指定します。 (省略時は、ファイル名)
comment-text	: 公証データベースに登録するコメントを指定します。 (省略時は、ファイル名+登録日時)

# システム連動オプションを使った例 (バッチファイルの例) ソースコード

```
@echo off

set KEIYAKUCODE="A99999999999" ←契約コードをセットします
set RIYOSHACODE="000000000001" ←利用者コードをセットします
set KOSHOPROGDIR="C:\Program Files (x86)\JN\JnER001S"
    ←公証エージェント本体が存在するディレクトリをセットします

echo;
echo 処理を開始します。

:repeat
    echo %~a1 | find "d">NUL
    if %ERRORLEVEL% equ 0 (
        echo %f1 はフォルダーです。
        cd %KOSHOPROGDIR%
        echo 電子公証を実行します。
        for %%A in (%1\*.*) do (
            JnER001.exe "%A" -BATCH %KEIYAKUCODE% %RIYOSHACODE%
                ←公証エージェントが実行されます

            if errorlevel 1 goto error
            if errorlevel 9 goto abort
            echo %%A の電子公証を実行しました。
        )
        echo フォルダ内のファイルの電子公証を実行しました。
    ) else (
        echo %f1 はファイルです。
        cd %KOSHOPROGDIR%
        echo 電子公証を実行します。
```

当バッチファイルにフォルダをドラッグ&ドロップした場合、フォルダ内にあるファイルの数だけ、公証エージェントを繰り返し実行します。

```
JnER001.exe "%f1" -BATCH %KEIYAKUCODE% %RIYOSHACODE%
    ←公証エージェントが実行されます

if errorlevel 1 goto error
if errorlevel 9 goto abort
echo 電子公証を実行しました。
echo;

)

if "%~2"==" " goto end
shift
goto repeat

:error
echo エラーが発生しました。処理を中断します。
echo フォルダの中にフォルダがある場合には対応していません。
goto bye

:abort
echo 異常終了しました。処理を中断します。
goto bye

:end
echo 処理が完了しました。
echo;
echo;
:bye
pause
```

←公証エージェントが実行されます

↑  
当バッチファイルに一つあるいは複数のファイルをドラッグ&ドロップした場合、ドラッグ&ドロップしたファイルの数だけ、公証エージェントを繰り返し実行します。



株式会社  
日本電子公証機構

# システム連動オプションを使った例 (バッチファイルの例) 処理概要

- フォルダをドラッグ&ドロップすることで、フォルダ内のファイルをすべて公証登録します。
- また、複数のファイルをドラッグ&ドロップすることで、ドラッグ&ドロップしたファイルを公証登録します。

「本バッチファイルの例は、システム連動オプションをご利用いただいているフジキン株式会社様（本社：八潮市）のご厚意によりご提供いただいたものです。  
「ご利用いただくのは自由です。ご利用にあたっては、処理の内容を把握し、システム環境などに合わせた修正を加えて、問題ないことを確認したうえで、ご利用ください。」



# システム連動オプションの料金



サービス項目	公証登録料(税抜) / 年間		システム連動 オプション(年間)
◆公証登録 (電子ファイルのハッシュ値のみお預かり) ※クライアントPC 1台の利用料 含む	~ 100件	90,000円	50,000円
	~ 300件	157,000円	
	~ 500件	200,000円	
	~ 1,000件	300,000円	100,000円
	~ 2,000件	480,000円	
	~ 3,000件	610,000円	
	~ 5,000件	940,000円	
	~ 8,000件	1,400,000円	
	~ 10,000件	1,640,000円	
	~ 20,000件	3,040,000円	200,000円
	~ 30,000件	4,240,000円	
	~ 50,000件	6,540,000円	
	◆ご利用PC 追加		1台当たり
◆公証証明書 発行料		1件	12,000円
◆ハッシュ値 継続保管更新料(10年)		1ハッシュ	50円
※都合により途中中断した契約を復活する場合の手数料			
◆継続復活手数料	契約復活時に、お預かりしている ハッシュ値数	0個 ~10,000個 10,001個~	手数料不要(新規契約扱い) 50,000円 50,000円を超えた1000個単位に10,000円加算
※対象となる電子ファイル1件当たりのサイズ容量は100MBまでです。それ以上の場合は、御問い合わせ下さい。			



株式会社  
日本電子公証機構